

# 郵送による猟銃等講習会（初心者・経験者）への申込みを希望する方へ

※ 裏面に注意事項が記載されています。よく確認の上、手続をお願いします。

- 1 茨城県内の各警察署許可事務等担当窓口にて入手、又は茨城県警察のウェブサイトからダウンロードして印刷した

猟銃等講習受講申込書 1通

銃砲刀剣類所持関係手数料納付書 1通

を用意します。

- 2 電話にて、住居地を管轄する警察署の生活安全課許可事務等担当窓口にて、猟銃等講習会の仮予約を行います。

- 3 申請に必要な

- ① 初心者講習受講料ならば 6,900円 分の茨城県収入証紙  
経験者講習受講料ならば 3,000円

- ② 証明写真1枚

提出前6ヶ月以内に撮影した無帽、正面、上三分身無背景の

縦3.0cm×横2.4cmのもので裏面に氏名、撮影月日を記載したもの

を用意します。

- 4 「猟銃等講習受講申込書」1通「銃砲刀剣類所持関係手数料納付書」1通に記載例を参考に必要事項を記入し、証明写真を「猟銃等講習受講申込書」に貼り付け、必要な額面の茨城県収入証紙を「銃砲刀剣類所持関係手数料納付書」に貼り付けます。

- 5 「返送用封筒」として、初心者講習用は縦25.7cm、横18.4cm、重量約300グラム、経験者講習用は縦25.7cm、横18.4cm、重量約200グラムの大きさのテキストが入る無地の封筒（角型2号大）を用意し、あて名欄に申請者の住所、氏名、郵便番号を記入し、簡易書留郵便で送るのに必要な額面の切手を貼り付けます。

- 6 作成した「猟銃等講習受講申込書」「銃砲刀剣類所持関係手数料納付書」「返送用封筒」を任意の封筒に入れ、簡易書留郵便等で仮予約を行った警察署の生活安全課許可事務等担当窓口宛てに郵送します。

- 7 申請内容に誤りがなければ、後日、講習会受講票が簡易書留郵便で届きます。

☆ 申請時の注意事項

- ① 申請様式は、茨城県内の各警察署生活安全課にて配布、又はインターネット上の茨城県警察本部ウェブサイトよりダウンロードした様式のみ使用可能です。
- ② 証紙や切手は過不足のないように注意してください。
- ③ 講習会の仮予約は郵送手続の場合のみ受け付けます。
- ④ 仮予約は住居地を管轄する警察署の生活安全課にて受け付けます。
- ⑤ 仮予約の受付時間は、開庁日の午前9時00分から午後5時00分までとしますが、担当者不在によりお受けできないことがあります。
- ⑥ 講習会の仮予約は先着順とさせていただきます。また、申請者ごとに一つの仮予約とし、かつ、他人の分の仮予約は受付いたしません。
- ⑦ 郵送手続における「公的な身分証明書」とは、旅券、在留カード、特別永住者証明書、外国人労働者証明書、免許証等、住民基本台帳カード等写真付のものを指すものとします。（申請日時点において有効なものに限る。）

☆ 郵送手続に関する注意事項

- ① 郵送に必要な費用は、申請者の負担となります。
- ② 郵送申請の送付は、普通郵便でも書留郵便でも受け付けますが、万が一、郵送時の事故等が発生した場合には、申請書類等が届かず郵送期限を過ぎてしまうおそれもありますので、簡易書留郵便等の利用をお勧めします。
- ③ **警察署からの郵送による交付は、必ず簡易書留で行います。**申請書類と共に簡易書留郵便に必要な額の切手を貼付した返送用封筒を警察署に郵送する必要があります。切手が不足している場合は郵送交付できませんので、改めて不足分の切手を郵送して頂くか、警察署窓口にて交付することになります。
- ④ 猟銃等講習会の申込みは開催日の3ヶ月前から、技能講習会の申込みは開催予定が公表され次第受付を開始します。
- ⑤ 猟銃等講習会、技能講習の電話による仮予約は開催日の**15日前**まで受け付けます。
- ⑥ 申請書類及び返送用封筒は講習会開催日の**11日前**までに警察署必着とします。
- ⑦ 電話による仮予約の内容変更は受け付けません、仮予約後はすみやかに申請書類と返送用封筒を送付してください。（やむを得ない理由による期日の変更、取消しは、管轄警察署の窓口にて直接申し出てください。）
- ⑧ 猟銃等講習会、技能講習の電話予約をした場合、期限日までに申請書や返送用封筒が届かない場合には、他の申請者や受講会場に迷惑となるため、仮予約はキャンセルしたものとして取り扱います。（この場合、期限日が閉庁日の場合は、当該閉庁日直前の開庁日までとします。）

**送信用封筒作成例**



裏面に差出人情報を記載

**返送用封筒記載例**

